

自由記述③（松本市職員からの回答）

【20代】

自	由	記	述
			駅前に中央図書館を移動してほしい。または同規模の図書館を設けてほしい。松本市南部に住んでるものから言わせると不便ではない。
			中央図書館の位置が非常に不便。松本市南部に住んでいる人からすると、行き来するだけで一苦勞。是非、街中に大きな図書館を建設してほしい。文化都市として誰もが多くの図書に触れ合える環境の整備をお願いしたい。
			明るく入りやすい雰囲気であってほしい。
			建物が清潔感を有していて欲しい。
			イベントよりも資料の充実に力を入れてほしい。書架や書庫を増やして欲しい。図書館にしかできないことをして欲しい（所蔵資料の公開や検索システムの増強など）。
			普段利用しない人でも、イベント等を開催してもらって、足を運ぶきっかけができたなら、それを機に図書館のことをもっと知れると思うし、また行ってみたいなと思えるかもしれないです。
			気軽に利用できることを知らない高校生・大学生は多いと思う。高校、大学に対しアピールをしてみれば。

【30代】

自	由	記	述
			長野県ないし市域に関わる郷土資料や貴重図書の収集に重点的に取り組むべきではないかと思えます。現状では、その面において信大図書館や塩尻市立図書館のほうが圧倒的に充実していると思えます。
			単純に本を読みたい、借りたいという人にとっては各地に図書館があってよいと思えますが、塩尻市のえんぱーくのように会議室や音楽室、勉強スペース、駐車場も充実している比較的大きな施設ができることを希望します。
			・中央図書館をどこか広い場所に移転して、立て直し+駐車場を拡張して欲しい。予算に限りがあるだろうが、蔵書も増やして欲しい。
			仕事終わりに立ち寄って活用したいと思うが着いたらすぐ閉館時間を迎える。土日に行こうと思うと駐車場も狭く行きづらいイメージがついてしまっており、もう何年も行ってない。地元(県外)の図書館は文化センターと併設されていることもあり駐車場はとても広く、中も広々としている印象で暇だから何となく行ってみようという気持ちになったが、それと比較すると場所が奥まっております、あまり気軽に行く気持ちにならない。
			公立運営のよさを生かし、資料と人をつなぐ場所であってほしいです。近年、TSUTAYAや民間企業と連携した図書館が、「おしゃれ」「コーヒーが飲める」「本も購入できる」と話題になっていますが、民間と連携した場合、資料の収集や提供に支障がないのか疑問です。図書館が公立運営である理由は、資料の収集や提供にある程度の中立性が確保される保障があるからだと思います。民間企業が絡む場合、その企業の利益に都合のよい資料が収集され、逆に都合の悪い資料が収集されないという事態が起きないと言い切れません。また、求人サイトを見ていると常に人材を募集している民間委託図書館があります。人の入れ替わりが頻繁だと、職員のスキルアップや業務の継承ができません。オンライン目録もありますが、資料と利用者をつなぐのは最終的には職員です。職員が働きやすい環境を作るのも、よい図書館には重要ではないでしょうか。
			学都と謳っているのであれば、開館日・開館時間を拡充し、学生・社会人が図書館を利用しやすい環境を提供すべきだと思います。また、そういう需要がないとの理由であれば、需要を掘り起こし、学生・社会人に利用を促し、学びの時間を生活に取り入れるようサジェストすることを求めます。
			(1)ICタグの導入や地域資料のデジタル化など先進的な部分とレファレンスや児童サービスなど旧来からある図書館サービスをうまくリンクさせた図書館サービスの展開。(2)SNSやホームページなどの広報ツールや図書館キャラクターの活用。(3)県外も含めた他の図書館との交流、人脈形成。(4)このアンケートフォーム図書館HPのお問い合わせフォームの機能をうまく使えば作れるのでは？
			これからも地域の皆さんに愛され、地域に共存できる図書館であって欲しい。
			本を読みたい気持ちはありつつ、なかなか時間の確保ができず読めていない現状です。必要なものは購入することが多いですが、物が増えてしまうので、本当はもっと図書館を利用できればいいなと思えます。学生の頃は図書館で勉強することが多かったですが、学習スペースが空いていないこともあったなあという記憶があります。学生にも、本を読みたい気持ちがありつつ実践できていない社会人にも優しい存在であってほしいなと思えます。
			人口に対して図書館の数が多すぎる。無駄な施設は減らす。

自由記述③（松本市職員からの回答）

【40代】

自	由	記	述
			郷土史等、身近な地域の資料について、博物館等を連携して、収集・閲覧が進めば良いと思います。
			郷土資料の提供は、松本市文書館と連携して、貴重な資料はデータ化したりして拡充してほしい。毎日来るような一部の利用者が長く滞在するサービスはいらないと思います。学習スペース、交流スペース、会議室、wi-fi環境は不要では。図書館だけでなく、ほかの市の施設の役割を見直して市全体で考えるべきではないでしょうか。
			通勤通学時に使いやすい位置に図書館本体があったほうが良い
			南部に住んでいることもあり、塩尻市の図書館を利用することが多いです。塩尻の図書館は松本市内の図書館に比べ、図書資料は同じように古くても、施設自体が明るく、職員も子どもに親切で安心して利用できると感じます。図書館が特別な場所ではなく、誰もが気軽に行ける日常の場所となってほしいと思います。
			休館日や開館時間がわかりづらい。なるべく日数、時間等、開館していただきたい。
			最初の貸出期間を2週間から1ヵ月程度にして欲しい、延長手続きができない事が多い。
			図書館を使いこなしている市民とそうでない市民の差が激しいと思う。図書館のことをよく知らない市民もいると思うので、もっと知ってもらうような方法を考え、こどもから高齢者まで使いやすい図書館にしていってほしい。
			本館・分館のどこでも、借りたい本を取り寄せてくれるシステムは、ありがたいと思います。これからも、連携が取れたシステムを保持して欲しいと思います。
			必要な本が必要な時に借りられる、今の図書館に満足しています。
			子どもがいる関係で絵本を借りるようになり、私も小説等を借りるようになりました。インターネットで予約ができるのが良いですが、複数の本を予約している際に、メールにて予約本が入った連絡がありますが、その際に、入荷した本のタイトルが分かれば、より便利だと思います。私は、図書館は本を貸すサービスだけあれば良いと思っています。今のままでほぼ満足しています。
			本がデジタル化もしてきていますが、私は、紙の本を手を持ち読むことも、図書館で知らなかった本と出会うことも好きです。市立図書館には、現状程度の大きさ・蔵書冊数・利便性は維持してもらいたいです。
			他の地域の図書館をみると、もっとイノベーションが起こりそうなイベントを開催するなどの動きがあります。もっとワクワクする企画があるといいなと思っています。
			本を借りられる場所だけではない、人が集まり交流が生まれる知の拠点施設であってほしいです。
			市内に図書館が数多くあるが、電子書籍の普及や人口減少社会等の社会事情を鑑み、利用率と施設数は見合っているのか。
			車両等を利用した移動図書館等によりハードにコストを掛けない工夫をすることで、財政負担と需要のバランスを取ることが必要。
			その浮いたコスト分で蔵書を増やした方が図書館好きな人達も喜ぶのではないか。
			問1の回答において「数年に1度」「数十年に1度」利用する者に該当する選択肢が無い。駐車場の広さは大切。
			極論を言えば、図書館は、図書の貸し出し機能のみあればよい。学生が勉強する場所を設ける必要はない。
			(1)蔵書の充実 (2)司書の能力向上 (3)郷土や地元地域に関する図書収集及び調査研究 (4)市立博物館建設前に収集した資料の調査研究及び活用（情報発信）

自由記述③（松本市職員からの回答）

【50代、60代、回答無】

自	由	記	述
			丸善書店のように、書籍検索が機器で気軽にできるように。あと、中古本の無償受入れを進め、蔵書の充実を図っていただきたい。
			新型コロナウイルスの影響で、不特定多数の人がいつ触ったかわからない本に触れるのに躊躇する。これからは、既存の本の電子化や電子書籍を充実させて、ネットで貸し出したり、図書館では衛生・貸出管理されたタブレットなどで閲覧するサービスが増えると思う。紙の本は、自由に閲覧ではなく誰がいつどの本に触れたか記録される管理が必要になると思う。
			老朽化している施設の改修に伴い子ども達の学習の場として利用しやすい環境づくりをしてほしい。
			子どもたちが気軽に訪れることが出来る図書館であってほしい。そのため、車を使わなくてもアクセスできる立地条件が大事。郊外の図書館は、郊外に住む子どもたちが徒歩でアクセスするために必要ですが、高校生のことを考えると、中心市街地の図書館の充実はより必要で、効果もあるように思います。
			各駅へ返却ポストを設置してほしい。
			中央図書館の位置が奥に入っていることから、駅や最寄りの公民館・支所等や市役所窓口で貸し出し、返却ができるようにしていただくと助かります。
			塩尻市立図書館のように、もっと自由な空間があるといい、そちらの方を多く利用している
			図書館通いは、私のライフワークになっています。ホームページから、リクエストをさせて頂くことが多いです。その中で、「こうだったら、もっと便利でいいなあ」と思うことがあるので、書かせていただきます。(1)マイページの中で・借りた本の一欄が見れるようになるといいな。(もう一度読みたいときとか、振り返ったり、1年でどれだけの本を借りれたか、ということ振り返りたい)(2)お気に入りのページで、1ページごとに、順番に前に登録した本へ戻らなければいけないので、ページ番号からすぐに本が探せるよ良い。(たとえば、下にページ番号が1, 2, 3, 4と出て、4を押せば、すぐ4ページが開く)1ページごとに戻るのは大変なので・・・ご検討いただけたら有難く思います。よろしくをお願いします。
			(1)コロナ後にますます社会がデジタル化されてくるので、子どもへの読書の働きかけが必要になってくると思います。保育園、幼稚園、学校と連携した取組により図書館利用が続くような仕掛けがあるといいですね。(2)調べもの際に利用していますが、普段の読書では本屋を利用しています。図書館に出かける習慣がないと足が遠ざかってしまいます。行くと借りたい本も見つかるのですが・・・。
			都市の文化度を示す指標として、対市民にも、また、対外的にも、アピールできるソフト、ハードのさらなる充実を願います。特に、非日常の環境の中で、日常を見つめなおことや、また、一方では、ビジネス支援、学習支援等の日常の延長にあること、この両者を両立させる施設設備環境整備を願います。
			知を求めて人が集まる場所になるよう、図書館が自ら情報発信をするようになれば、本や資料を求める人だけでなく、さまざまな人が集まってくるのではないかと思います。さまざまな知恵が集めて、松本市をよりよくする原動力になるくらいの夢を持って運営していただければ、活気のある図書館になるのではないのでしょうか。
			貸本屋ではない、社会教育施設としての立ち位置を確立してください。
			設問設定間違ってますよ、必須回答外さないとはいけません
			(1)より多くの市民ニーズに応えることができる中核市に相応しい設備・サービスを完備した図書館。(2)広い市域をカバーするための分館やサービスポイントによる図書館ネットワーク。(3)小中学校の学校図書館の充実
			松本市の「知・智」の中心であってほしい。それに見合った人材と施設、資料が必要。また、学生が集中して勉強できる公的な学習スペースが全く足りていない。市内にもっと学習スペースを増やしてほしい。松本市は未来を担う若者をバックアップする態勢が少ないように思う。
			できれば、近隣市並みに立派な図書館を創ってくださればうれしいです。
			一昨年まで、二人の子どもが松本市内の高校や大学に通学していたが、あがたの森図書館の学習室をや公民館の学習室を数回利用しただけだった。(あがたの森図書館は子育ての相談がある日は利用できず)子どもの話では中央図書館の立地が悪く、学校帰りの空き時間に学習する際は、マクドやファミレスを使用した。ファミレスなど、大勢の学生が学習する中、壁に学習禁止と張り紙があるのをみかけたことがあり、学生が気の毒で、情けないと感じてた。子ども達からも「学都というのはどういうことだ、図書館を見る限り、ふさわしくなく、恥ずかしいので、やめたほうがよい」といわれる。住んでいる塩尻市の図書館は利用しやすく、快適で、資料も揃い、家族でよく利用します。図書館が市への満足度を高めていると感じています。また、コロナ休校で子どもの大学の図書館は本の郵送貸出サービスをしてくれるので、市の図書館もそういったサービスがあつてよいと思います。
			(1)毎日同じ人の居場所になるだけの建物は不要。(2)小学校や中学校の図書室の充実を図り、地域の人でも利用できるようにすればいい。(3)無駄な建物にお金をかけずに蔵書を充実させて、全市民が平等に利用したくなるような図書館になればいいが、自分は他人が触れた本には触れたくないので今後も絶対に利用しない。
			何も期待していない
			(1)松本市図書館アプリを提供ください。(2)利用者カードをアプリに内蔵。(3)入館及び貸出、返却時に、アプリ内の利用者カードを利用し、人手を介さずに対応可能。(4)アプリから貸出、返却予約なども可能。(5)貸出料金の支払いも、アプリ内QRコード読み取りでキャッシュレス決済できる。
			他図書館からの取り寄せを充実させてほしい。(貴重書など)